



## 1. 地区の概況

- 1) 根岸地区は、磯子区の北東に位置し、北側は南区、東側は中区に接しています。面積は約96haです。(鳳町は含まない。以下同じ)
- 2) 東側は根岸の丘陵部の急な傾斜地、南はJR根岸線、臨海部の工業地(鳳町)を挟んで根岸湾に面しています。西側には堀割川が流れ、国道16号(横須賀街道)が通っています。
- 3) 人口は、約11,400人です。安定していますが、西町で人口が増加した結果、平成27~28年に地区の人口が若干増加しました。

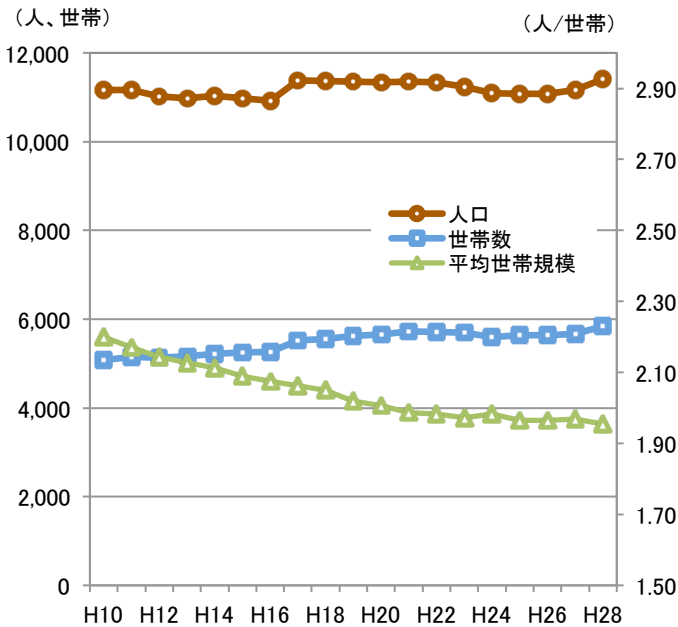
## ●人口・世帯数の概要

	平成18	平成23	平成28	平成18 ~23年	平成23~ 28年	平成23 年比率 (%)	平成28 年比率 (%)	平成28年 区平均比 率(%)	平成28年 市平均比 率(%)
人口 (人)	11,367	11,243	11,411	▲ 124	168	100.0	100.0	100.0	100.0
0~14歳人口 (人)	1,177	1,226	1,258	49	32	10.9	11.0	12.0	12.7
(内0~5歳) (人)	478	523	539	45	16	4.7	4.7	4.9	4.9
15~64歳人口 (人)	7,969	7,525	7,248	▲ 444	▲ 277	66.9	63.5	61.4	63.7
(内20~24歳) (人)	605	584	509	▲ 21	▲ 75	5.2	4.5	4.8	5.1
(内25~39歳) (人)	2,857	2,499	2,315	▲ 358	▲ 184	22.2	20.3	17.9	18.5
65歳以上人口 (人)	2,221	2,492	2,905	271	413	22.2	25.5	26.6	23.6
(内65~74) (人)	1,162	1,285	1,558	123	273	11.4	13.7	13.8	12.4
(内75歳以上) (人)	1,059	1,207	1,347	148	140	10.7	11.8	12.8	11.2
世帯数 (世帯)	5,548	5,703	5,838	155	135				
平均世帯規模 (人/世帯)	2.05	1.97	1.95					2.10	2.13

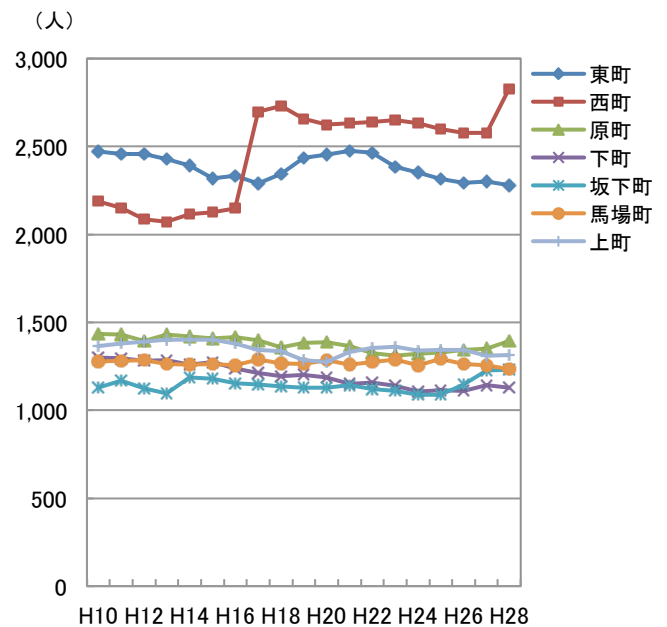
\*「町丁別世帯と男女別人口」「町丁別年齢別男女別人口」による。各年9月末現在

- 4) 世帯数は、約 5,800 世帯です。世帯数も同じくほぼ安定しています。西町で人口とともに世帯数が増加したため、平成 27～28 年に地区の世帯数も若干増加しました。
- 5) 平均世帯規模は、1.95 人/世帯で、他の地区(区平均は 2.10 人/世帯)と比べて最も小さくなっています。世帯規模の縮小傾向は続いています。
- 6) 区内の他の地区に比べ生産年齢(15～64 歳)人口比率が高く、年少人口(0～14 歳)と高齢者(65 歳以上)の比率が低くなっています。
- 7) 民間の賃貸住宅に住む世帯の比率が 33.5%と高く、区の平均 22.1%を上回っています。
- 8) また、6～10 階建ての共同住宅に居住する世帯が 30.4%と多く(区平均は 15.8%)なっています。
- 9) 年齢 5 歳階級別人口の推移率をみると、根岸地区は、磯子地区、汐見台地区、屏風ヶ浦地区等とともに、20 歳代前半(若い就業者)が転入増加する特徴があります。民間賃貸住宅が若い世代の住まいとして機能していると考えられます。

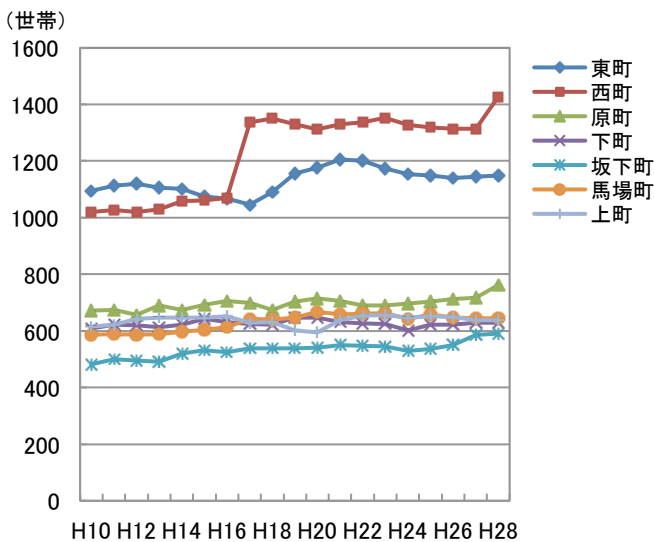
●地区の人口、世帯数の動向



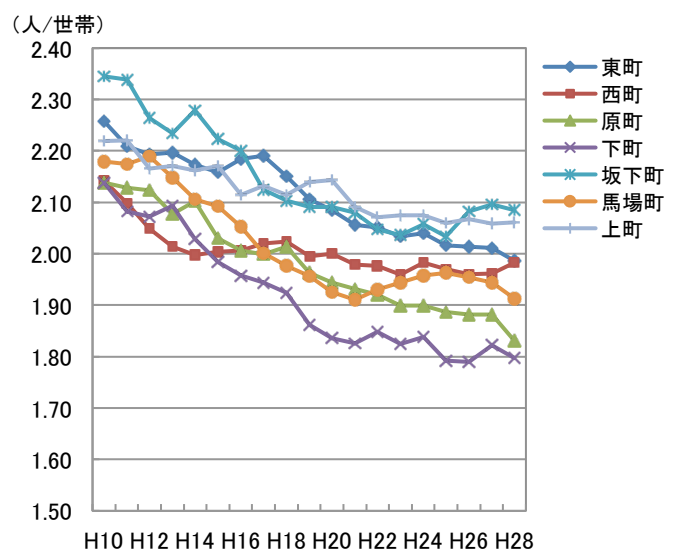
●町別・人口の動向



●町別・世帯数の動向



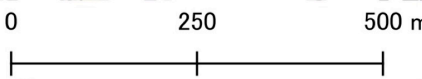
●町別・世帯規模の動向





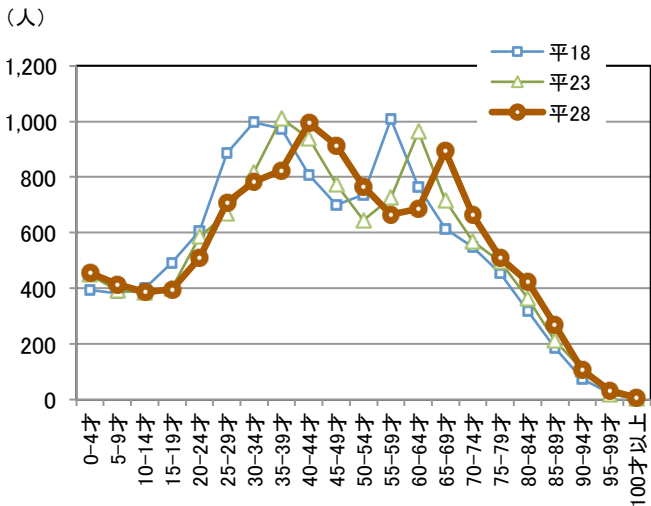


- 専用商業・娯楽施設
- 業務施設
- 文教厚生用地
- 公園、広場
- 山林、荒地、法面
- 農地
- 河川・水路・プール・貯水槽
- バス停
- バス路線
- 鉄道駅
- 鉄道路線



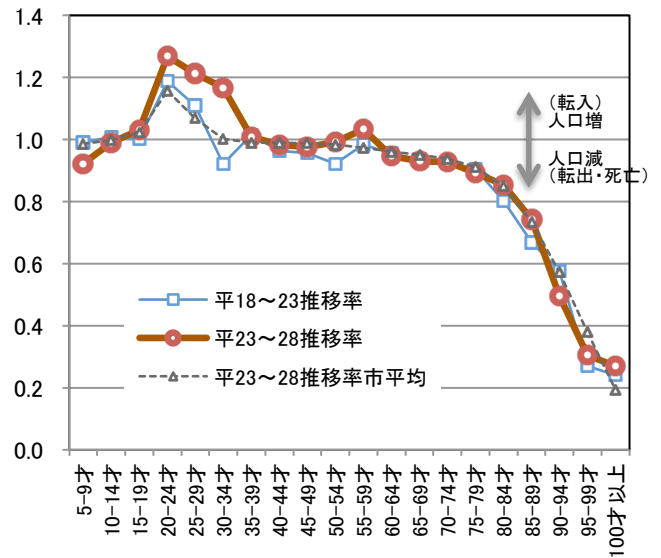
\*都市計画基礎調査結果 平成25年(横浜市建築局)を活用した

●年齢5歳階級別人口の変化



\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

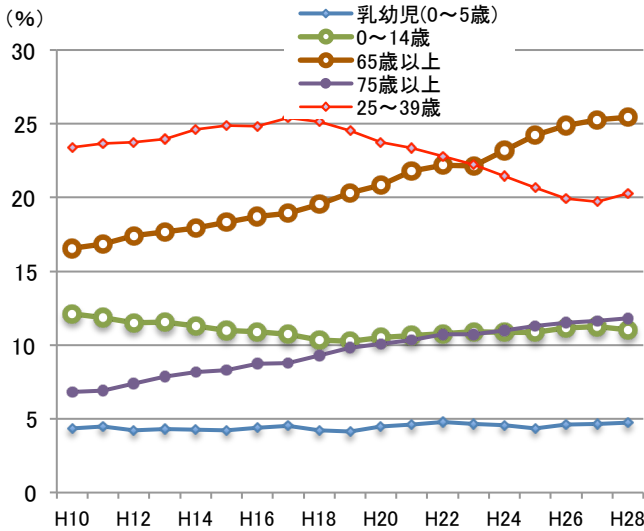
●年齢5歳階級別人口の推移率



\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

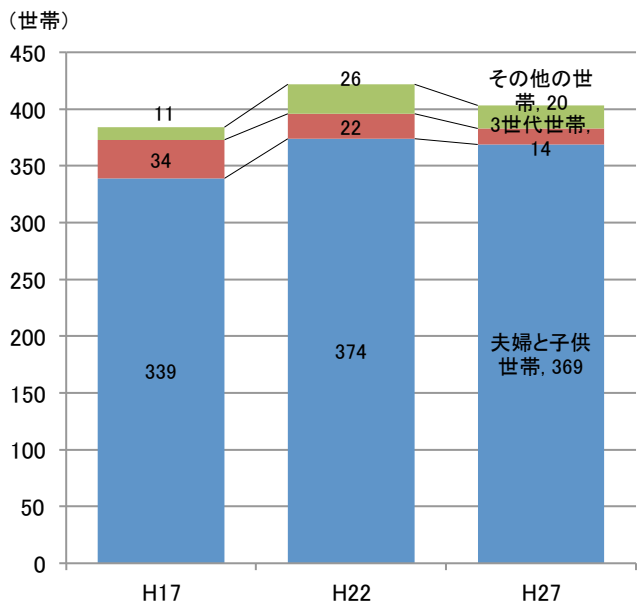
\*推移率：この場合は、年齢の5歳別人口が、死亡、転出入によって5年後にどう変化するかをみる指数。現在の5歳階級別の人口÷5年前の5歳若い5歳階級の人口

●乳幼児・高齢者比率等の動向



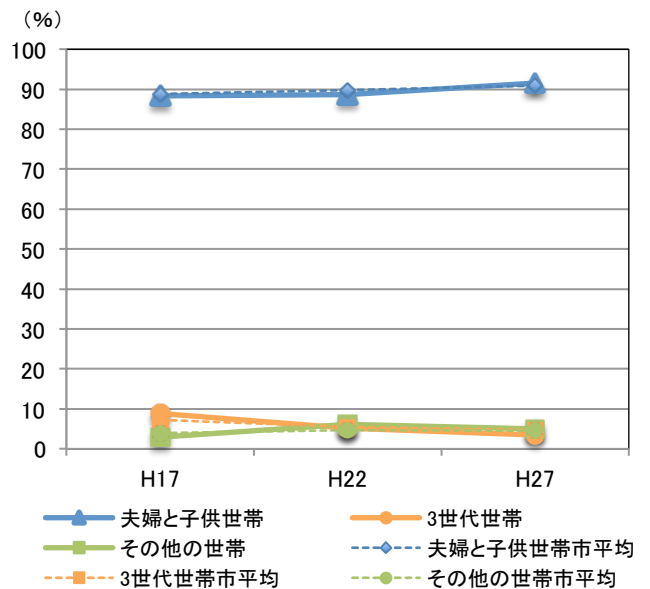
\*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

●6歳未満の子どもがいる世帯の動向



\*各年「国勢調査」による

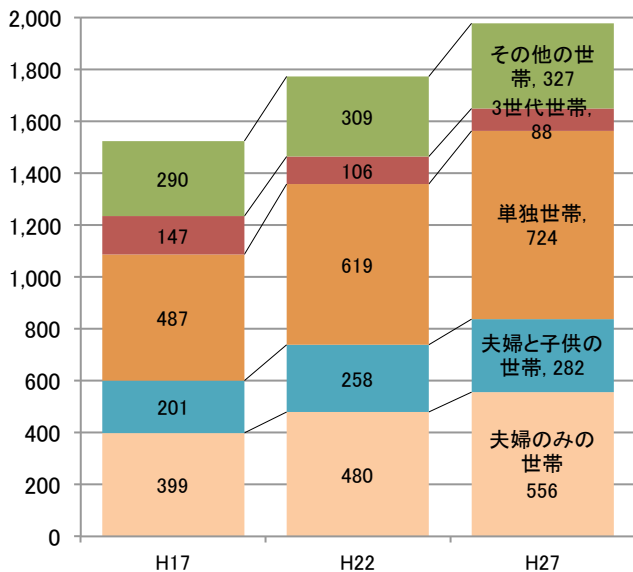
●6歳未満の子どもがいる世帯の比率



\*各年「国勢調査」による

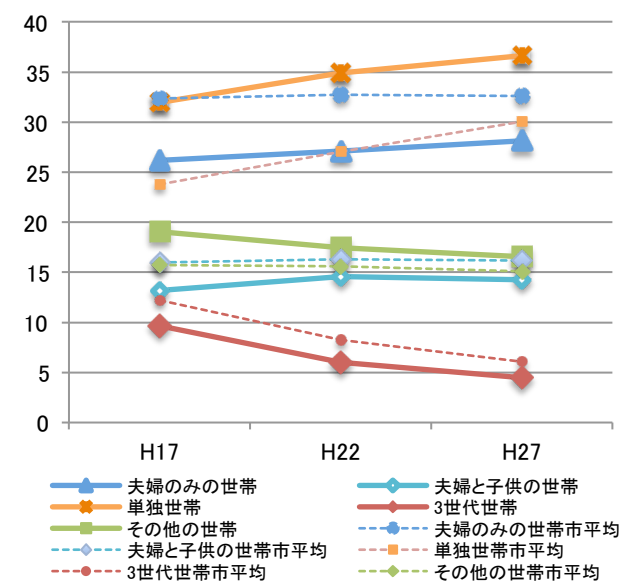
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の動向

(世帯)



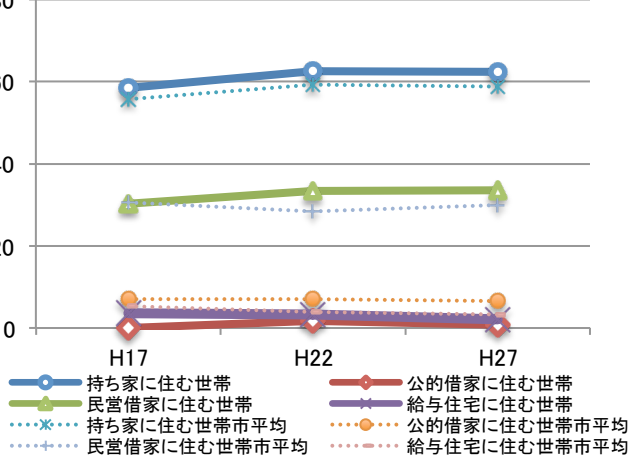
●高齢者 65 歳以上がいる世帯の比率

(%)



●住宅の所有関係別世帯の比率

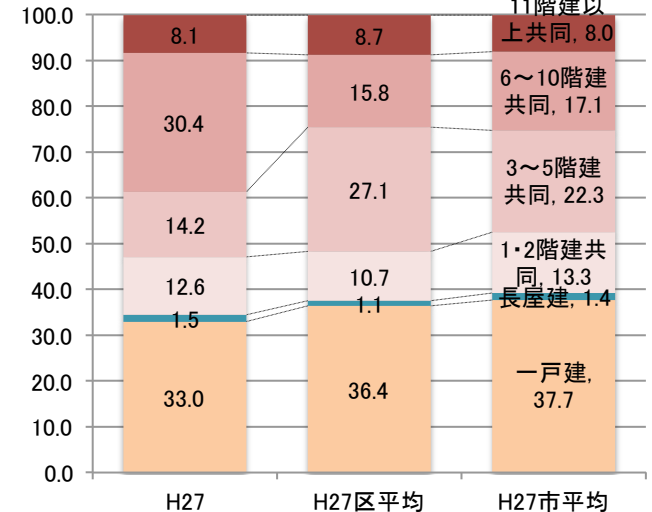
(%)



\*給与住宅：社宅、公務員宿舎など

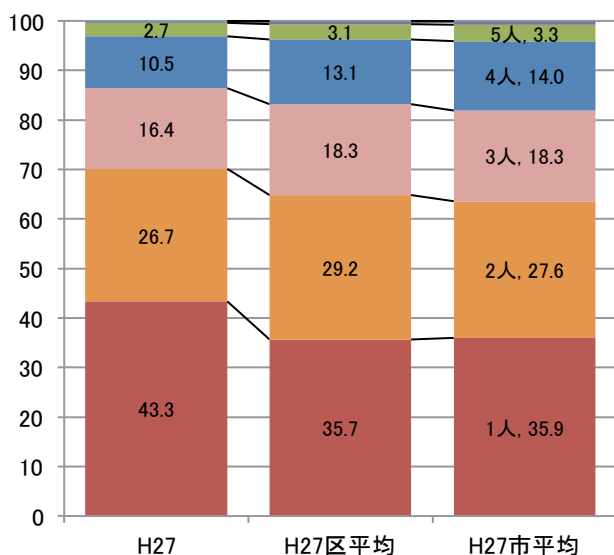
●住宅の建て方別世帯の比率

(%)



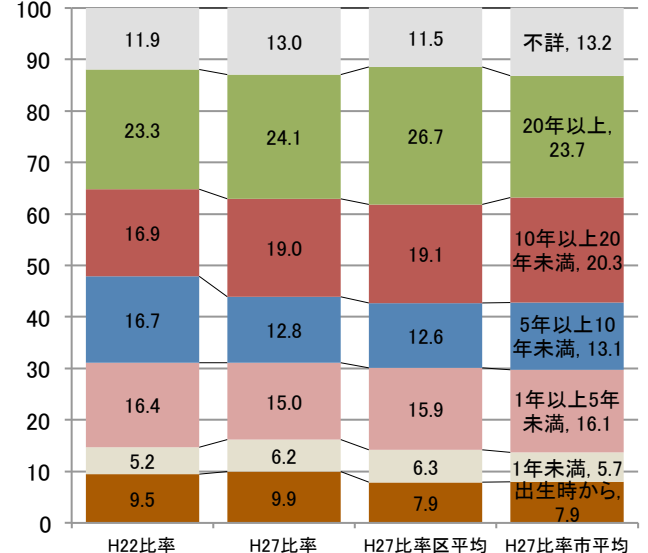
●規模別世帯の構成

(%)



●居住歴別人口の比率

(%)



## 2. 地区の居住者特性

### 2.1 根岸駅に近い東町、西町は、マンションに住む世帯が多く、子育て世代が多い

- 1) 3階以上の共同住宅に居住する世帯の比率は、東町で76.0%、西町で73.6%であり、区の平均(51.6%)を大きく上回っています。
- 2) 持家に住む世帯の比率は、東町で66.0%、西町で69.0%と高くなっています。高層の共同住宅が多いことから、分譲マンションが多いと考えられます。
- 3) 根岸線に沿った東町、西町、原町は、生産年齢人口の比率が高くなっています。東町63.6%、原町68.3%、西町64.6%であり、区の平均61.4%を上回っています。
- 4) 東町は、40歳代後半と60歳代後半の比率が高い年齢構成になっています。20歳前半が転入増加し、25～34歳が転出し減少する傾向がつづいています。平成23～28年の期間は、35～44歳とその子供が転出減少する傾向が強くなり人口が減少しました。
- 5) 西町は、40歳代前半の比率が高い年齢構成になっています。平成17年に人口が急増し、平成27～28年にも人口増加がみられました。平成23～28年の期間でみると20歳代の転入が多かったことがわかります。
- 6) 平成27年以降、原町や坂下町でも、人口や世帯数が増加する傾向がみられます。

### 2.2 根岸の台地と堀割川間の市街地は、戸建て住宅や低層の共同住宅が多く高齢化が進んでいる

- 1) 戸建て住宅に居住する世帯の比率は、上町は51.5%、馬場町は56.5%であり区の平均(36.4%)を上回っています。  
この他、下町、馬場町では、1,2階建ての共同住宅に住む世帯が多くなっています。下町で30.8%、馬場町で25.3%を占めています(区平均は10.7%)。
- 2) 根岸地区では、民間の賃貸住宅に住む世帯の比率が高く、原町で45.6%、下町で41.8%と特に高くなっています。この他、馬場町32.5%、坂下町26.6%、上町36.9%と高い比率になっています。(区平均は22.1%)
- 3) 戸建て住宅や、低層の共同住宅が多い馬場町、坂下町、下町で、人口密度が100人/haを超えています(区の平均は約89人/ha、市の平均は約86人/ha。高層の共同住宅が多い東町、西町でも人口密度は高く140人/haを超えている)。
- 4) 馬場町、下町では、高齢化率がいずれも高くなっています。馬場町では30.1%、下町では30.4%と高くなっており、区の平均26.6%を上回っています。

また、馬場町、下町では75歳以上の高齢者の比率も高くなっています。馬場町15.5%、下町16.1%であり、区の平均12.8%を上回っています。

また、国勢調査の結果によれば、世帯総数に占める一人暮らしの高齢者の世帯の比率は区の平均で13.2%となっています。この比率も馬場町で17.7%と高くなっています。

### 2.3 人口や世帯数は安定した状態が続く。生産年齢人口は安定化するが、75歳以上の高齢者が増える

- 1) 生産年齢(15～64歳)の人口は緩やかな減少傾向にありましたが安定化する傾向が見られます。
- 2) 生産年齢人口に含まれる25～39歳の子育て世代に減少傾向が見られる地区が多い中、根岸地区では25～39歳の人口減少傾向が安定化し増加に変わる傾向が見られます。
- 3) 今後、高齢者になる人口が減少するため、高齢者の増加傾向は鈍化します。しかし75歳以上の高齢者になる人口が今後も増えるため、少なくとも今後10年間は75歳以上の人口は増加し続けると考えられます。